

# 第1回 相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会

## 橋本駅周辺地区小委員会

### 次 第

日 時：平成26年9月19日（金）

午後7時00分から

場 所：ソレイユさがみ

セミナールーム1

### 開 会

1 あいさつ

2 委員長、副委員長の選出

3 委員長、副委員長あいさつ

4 議事

(1) 橋本小委員会における検討の進め方について・・・資料1

(2) 土地利用について・・・資料2

(3) 交通ネットワークについて・・・資料3

(4) その他

5 その他

### 閉 会

#### \* 配布資料

- ・ 第1回橋本駅周辺地区小委員会次第
- ・ 橋本駅周辺地区小委員会委員名簿
- ・ 座席表
- ・ 資料1 橋本小委員会における検討の進め方について
- ・ 資料2 土地利用について
- ・ 資料3 交通ネットワークについて

**相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会  
橋本駅周辺地区小委員会 委員名簿**

No.	区 分	氏名	役職等
1	学識 経験者	飯島 泰裕	青山学院大学社会情報学部社会情報学科教授
2		岸井 隆幸	日本大学理工学部土木工学科教授
3		屋井 鉄雄	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
4	市住民	五十嵐 淳	公募市民
5		中山 晃子	公募市民
6		大用 尚	橋本駅周辺まちづくり推進会議構成員
7		草野 寛	橋本駅周辺まちづくり推進会議構成員
8	関係団体	原 正弘	橋本駅周辺まちづくり推進会議会長
9		阿部 健	相模原市観光協会専務理事
10		座間 進	相模原商工会議所専務理事
11		田所 昌訓	相模原市自治会連合会会長
12	公共交通 事業者	山口 拓	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社企画部長
13		二村 亨	東海旅客鉄道株式会社中央新幹線推進本部企画推進部担当部長
14		高山 恒明	京王電鉄株式会社鉄道事業本部計画管理部長
15		三木 健明	神奈川中央交通株式会社運輸計画部長
16	関係行政 機関	寶珠山 正和	神奈川県県土整備局都市部交通企画課長
17		太田 剛	神奈川県相模原北警察署交通課長

## 【広域交流拠点整備計画検討項目 第2章 橋本駅周辺地区の整備計画】

### ①土地利用計画（ゾーニング）

- ・ 橋本駅周辺地区の土地利用計画
- ・ 駅南口の導入機能、機能配置方針
- ・ 周辺部を含む長期的な土地利用方針

### ②交通ネットワーク計画

- ・ 相模原 I C とのアクセス強化
- ・ 相模原駅周辺地区との連携強化
- ・ 高速バスの導入、路線バス網の再編
- ・ 慢性的な渋滞解消の方策
- ・ 歩行者や自転車の通行空間の拡充

### ③駅前空間・歩行者空間整備計画

- ・ 広域ターミナルとしての交通広場
- ・ リニア～在来線等歩行者乗り継ぎ動線

- ・ 都市の「顔」となる駅前空間・景観形成
- ・ 駅南北の回遊性向上
- ・ リニア駅地上部、地下部の活用方策

### ④市街地整備計画

- ・ 駅南口の面整備事業手法
- ・ 橋本駅周辺地区の都市計画の方針
- ・ 駐車場、駐輪場の整備方針
- ・ 低炭素まちづくりの方針
- ・ エリアマネジメントの方針

### ⑤整備スケジュール

- ・ 平成39年リニア名古屋開業、平成57年リニア大阪開業を見据えた段階的な整備のスケジュール

# 1. 橋本小委員会の検討の進め方について

平成26年度

【第1回広域交流拠点整備計画検討委員会】（平成26年8月22日）＜諮問＞  
○広域交流拠点における検討方針の整理（検討項目、検討体制、策定スケジュール）

[第1回小委員会]（平成26年9月19日）

- ①土地利用計画（橋本駅周辺の都市構造や土地利用  
・リニア駅の活用 など）
- ②交通ネットワーク計画（将来のネットワーク（自動車・自転車・歩行者）など）

[第2回小委員会]（平成26年11月頃）

- ①土地利用計画（橋本駅南口の土地利用 など）
- ②交通ネットワーク計画（橋本駅南口の交通ネットワーク など）
- ③駅前空間・歩行者空間整備計画（空間形成 など）

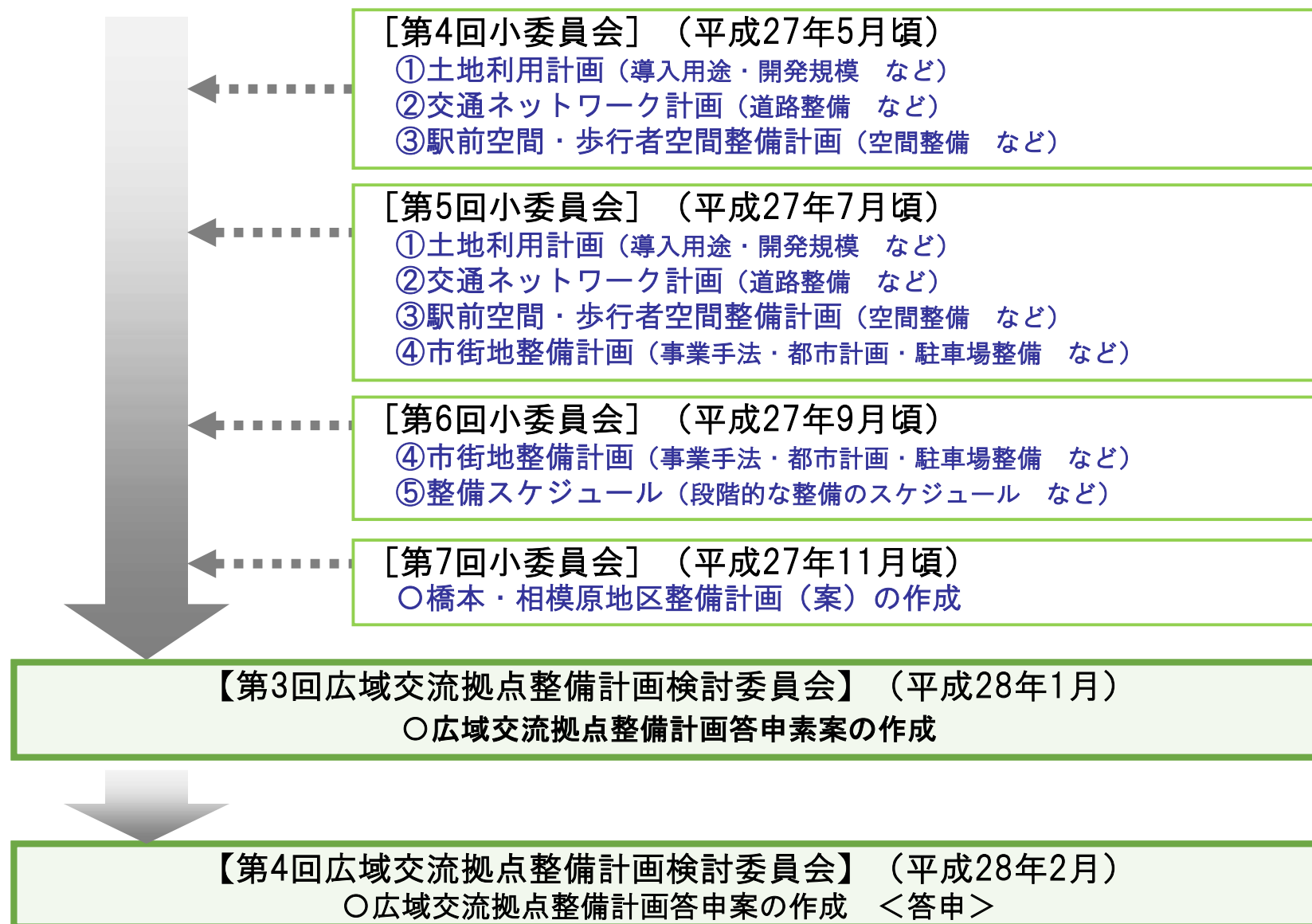
[第3回小委員会]（平成27年1月頃）

- 整備計画の中間とりまとめ（案）の作成
- 第1回、第2回小委員会検討事項の深度化

【第2回広域交流拠点整備計画検討委員会】（平成27年2月頃）  
○広域交流拠点（橋本・相模原両駅周辺地区）における整備計画の中間とりまとめ  
両拠点地区周辺の整備に関する方針、中長期的なまちづくりビジョンの検討

# 1. 橋本小委員会の検討の進め方について

平成27年度



# 2. 土地利用について

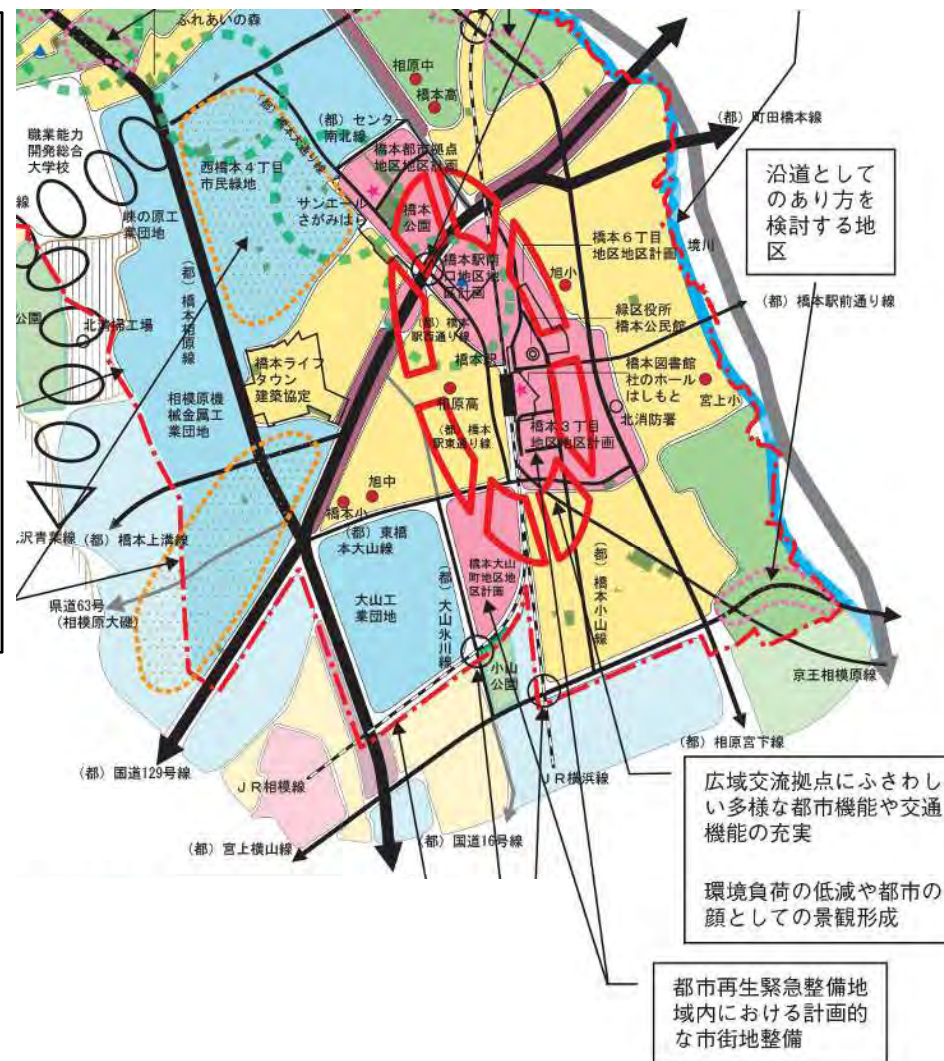
## 2-1 既定計画 ①都市計画マスタープラン（平成22年3月）

### 橋本地域 地域づくりの方針（抜粋）

#### 2. 都市力を高める都市づくり

①橋本駅周辺は、広域的な交通軸を生かしながら、相模原駅周辺地区との機能分担のもとで、業務機能や商業機能、文化・芸術の集客機能などの多様な都市機能の集積を図り「首都圏南西部における広域交流拠点」にふさわしい魅力ある都市づくりを進めます。

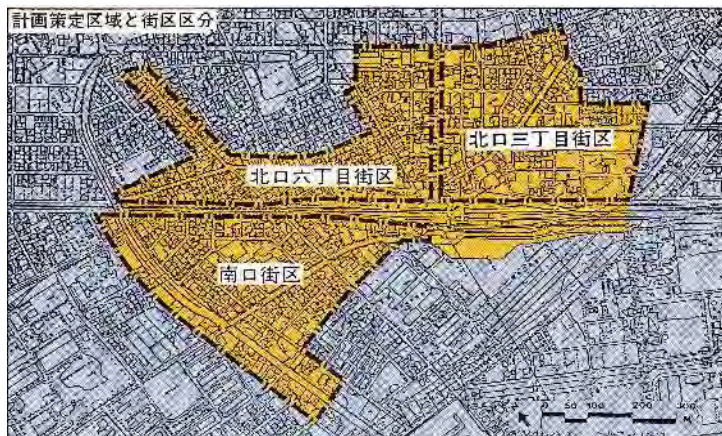
②橋本駅の北側と東側に位置する都市再生緊急整備地域内においては、民間活力を生かした計画的な市街地整備の取り組みを進めます。





## 2. 土地利用について

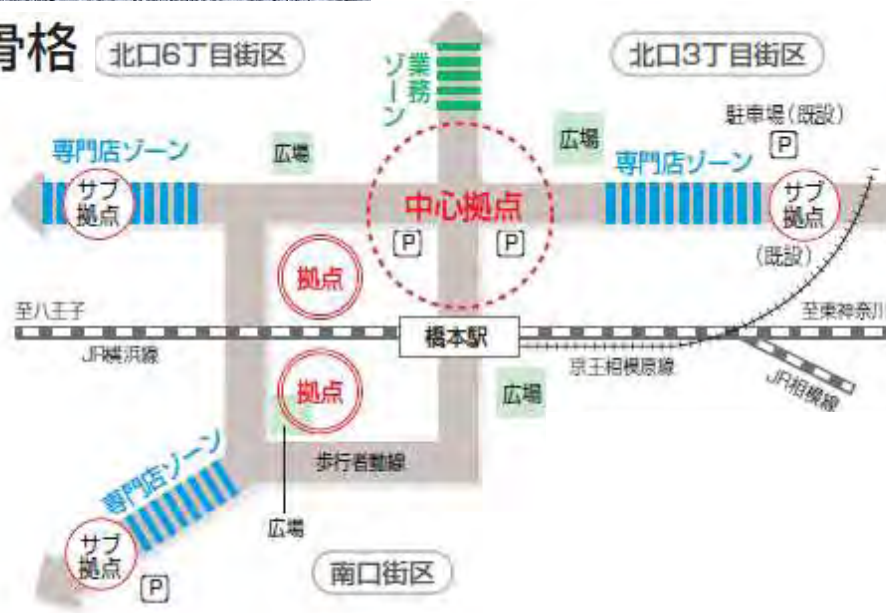
### 2-1 既定計画 ③商業地形成事業（橋本駅周辺街區別整備計画 昭和62年）



#### 3街区のまちづくりテーマ

- 【北口六丁目街区】  
○手づくり生活体験の街
- 【北口三丁目街区】  
○新しい自分を見つける街
- 【南口街区】  
○自然とのふれあいを楽しむ街

#### まちづくりの骨格

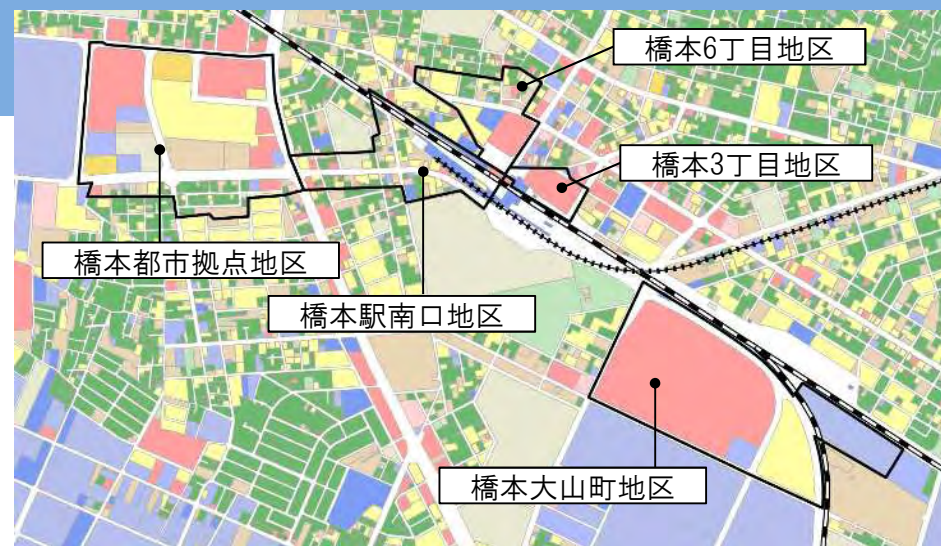


記号	全体骨格の考え方
—	駅周辺の回遊性を確保するため、商業地全体が連携された歩行者動線を設定する。
○ (点線)	商業地のポテンシャルを高める中心拠点を設ける。
○ (実線)	各街区間の回遊性を高める拠点を設置する。
○ (実線)	動線の端部に来街者を誘導するサブ拠点を設ける。
	中心拠点とサブ拠点を結んだ動線上あるいはその延長上に業務・専門店ゾーンを形成する。
■	来街者の憩いの場となる広場を確保する。
(P)	車での寄付きが容易な場所に駐車場を設定する。



## 2. 土地利用について

### 2-1 既定計画 ④地区計画



	地区計画の目標（抜粋）	土地利用の方針（抜粋）
橋本駅南口地区 (H2決定) (H8変更)	商業・業務機能の集積を図るとともに良好な都市環境の形成と合理的な土地利用を促進する	駅周辺地区は、主に商業の利便性を増進するとともに、土地の高度利用を促進する。橋本駅西通り線沿道地区は、周辺住宅地の利便を増進するとともに、駅周辺地区と一体となった商業地として土地利用を図る。
橋本6丁目地区 (H3決定) (H9変更)	商業・業務機能の集積を図るとともに、良好な都市環境の形成と合理的な土地利用を促進する	商業・業務施設の集積を図るとともに、適正かつ合理的な土地利用を促進する。
橋本都市拠点地区 (H8決定) (H11変更)	都市拠点としてふさわしい、魅力ある良好な市街地環境の形成を図る	都市拠点にふさわしい調和とバランスのとれた魅力的な市街地を形成するため、オープンスペースの創出を図り、地区ごとに特色のある土地利用を誘導する。
橋本3丁目地区 (H10決定)	商業・業務機能等の集積を図るとともに、良好な都市環境の形成と合理的な土地利用を促進する	商業・業務・文化施設の集積を図るとともに、敷地の共同化及び土地の高度利用を図るなど、広域拠点の駅前に相応しい適正かつ合理的な土地利用を促進する。
橋本大山町地区 (H18決定)	多様な都市機能をもった複合市街地の形成を図る	JR相模線の西側の地区では、大規模工場跡地の土地利用転換により、商業、文化及び居住等の都市機能の集積を図り、東側の地区では研究開発及び生産機能を誘導し、良好な市街地形成を図る。

## 2. 土地利用について

### 2-1 既定計画 ⑤都市再生緊急整備地域 相模原橋本駅周辺地域（平成15年7月指定）

#### 地域整備方針

##### 【整備の目標】

首都近郊の内陸工業都市の核として発達してきた橋本地区において、**JR横浜線・相模線、京王相模原線の3線の交通結節点としての立地特性を活かし、敷地の共同化や駅に近接する大規模工場跡地の土地利用転換等により、多様な都市機能をもった複合市街地を形成**

##### 【都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項】

- **橋本地区については敷地の共同化により、また、大山町地区については大規模工場跡地の土地利用転換により、商業・居住・周辺都市との連携を視野に入れた交流等の都市機能を拡充・強化**
- 災害に強い市街地の形成に向けた建築物の耐震化や不燃化等の防災機能の向上

##### 【公共施設その他の公益的施設の整備および管理に関する基本的事項】

- **地域の防災機能の強化に資する公園の整備**
- 橋本地区内の交通の円滑化に資する都市計画道路橋本新町通り線及び都市計画道路橋本駅北口線の拡幅整備
- **国道16号から大山町地区へのアクセスの強化を検討**
- 地域内の回遊性を確保する歩行者ネットワークと公園へのアクセスに配慮した歩行者動線を形成



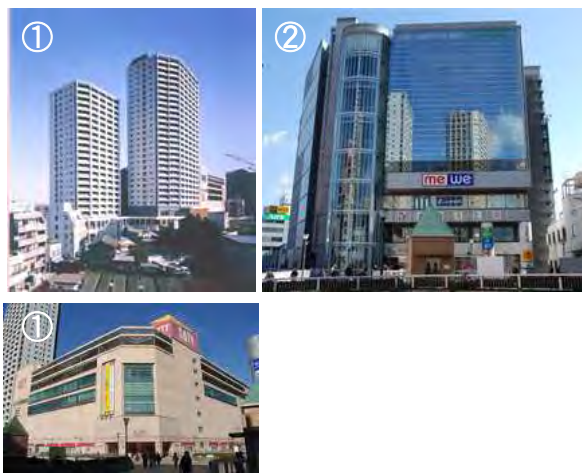
## 2. 土地利用について

### 2-2 開発動向 ①橋本駅周辺の拠点的な都市開発の進捗



#### 橋本駅北口駅前地区

事業手法	第一種市街地再開発事業	優良建築物等整備事業
対象地区	橋本駅北口地区 (①) 橋本駅北口C地区 (②)	橋本6丁目東町地区 (③) 橋本6丁目地区 (④) 橋本6丁目24番地区 (⑤) 橋本6丁目D地区 (⑥)
基盤整備	都市計画道路、駅前広場 (ペDESTリアンデッキ整備)	-
導入施設	公共公益施設、大規模商業施設、 共同住宅、駐車場、駐輪場	共同住宅、商業・業務施設、 駐輪場



## 2. 土地利用について

### 2-2 開発動向 ①橋本駅周辺の拠点的な都市開発の進捗



#### 橋本都市拠点地区

事業手法	橋本地区土地区画整理事業
対象地区	西橋本二丁目、三丁目及び五丁目
基盤整備	都市計画道路、歩行者専用通路、都市計画公園
導入施設	公共施設、商業施設、共同住宅、駐車場、駐輪場



## 2. 土地利用について

### 2-2 開発動向 ①橋本駅周辺の拠点的な都市開発の進捗



#### 都市再生緊急整備地域大山町地区

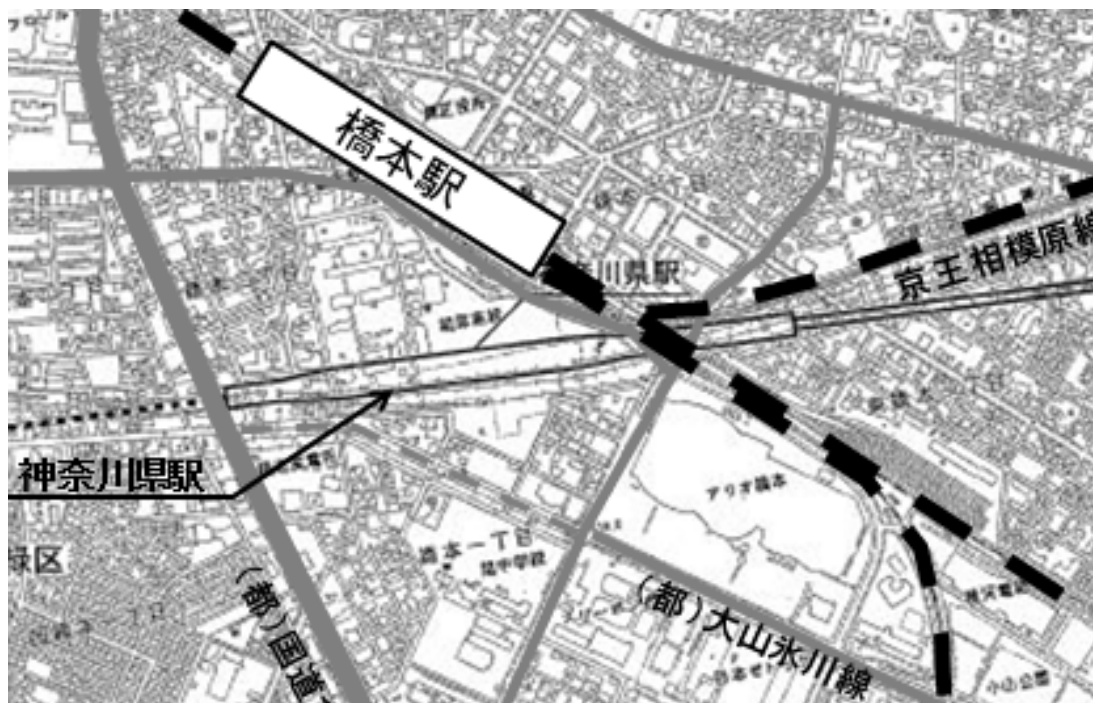
事業手法	民間都市開発事業
対象地区	日本金属工業相模原事務所跡地
基盤整備	道路、公園、広場、緑地
導入施設	商業施設、文化施設、共同住宅、駐車場



## 2. 土地利用について

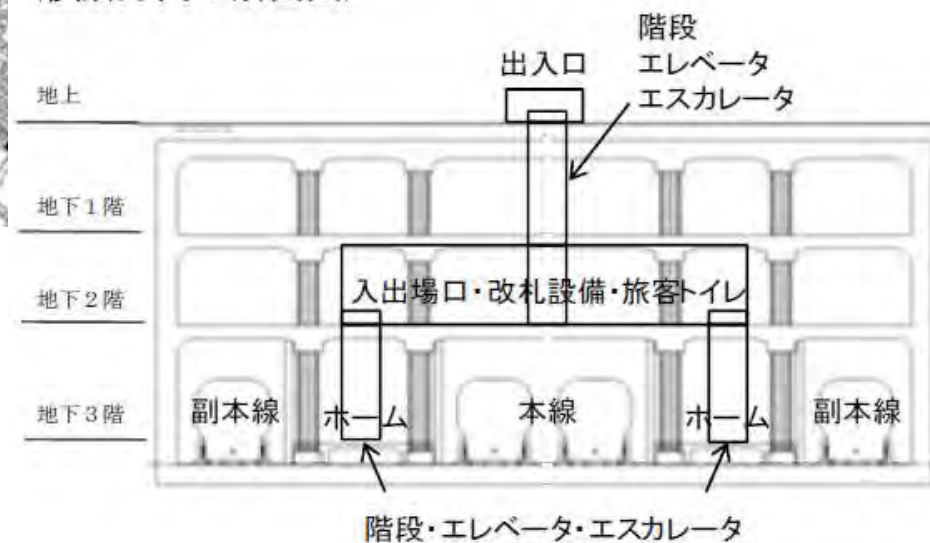
### 2-2 開発動向 ②リニア中央新幹線駅の設置（平成39年開業予定）

#### 【神奈川県駅位置図】



- ・ 駅は地下約30m、幅最大約50m、長さ約1km、面積約3.5haの規模で、地下3階構造
- ・ 地下3階には、2面4線の島式ホームが設置されるほか、地下2階に入出場口等が設置
- ・ JR東海は、駅の地下1階や地上部については地元等での活用を想定

#### 〈横断方向の断面図〉



## 2. 土地利用について

### 2-3 現況と課題 ①橋本駅周辺

- 北口駅前については、再開発事業などにより、道路、駅前広場の整備等が進んでいるが、後背地についても合理的な土地利用や基盤施設の整備を進めることが望ましい
- 南口駅前については、県立高校の移転、リニア駅の建設が計画されており、新たな核としてのまちづくりが必要
- 橋本都市拠点地区・橋本大山町地区については、既定計画に沿った整備事業が完了しており、南口の新たな核の整備と合わせ、今後のまちづくりの方向性の再整理が必要

#### 橋本駅北口駅前・橋本都市拠点地区・橋本大山町地区

- ・指定容積率の活用が図られ、商業系用途も集積
- ⇒**拠点的市街地の形成が進んでいる**

#### 駅周辺地区

- ・国道16号線の沿道地区を除き、商業系土地利用が進んでいない
- ・指定容積率の活用が不十分であり、コインパーキングなどの低未利用地も点在
- ⇒**合理的な土地利用や周辺開発状況に応じた土地利用転換等の方策が考えられる**

#### 橋本駅南口駅前

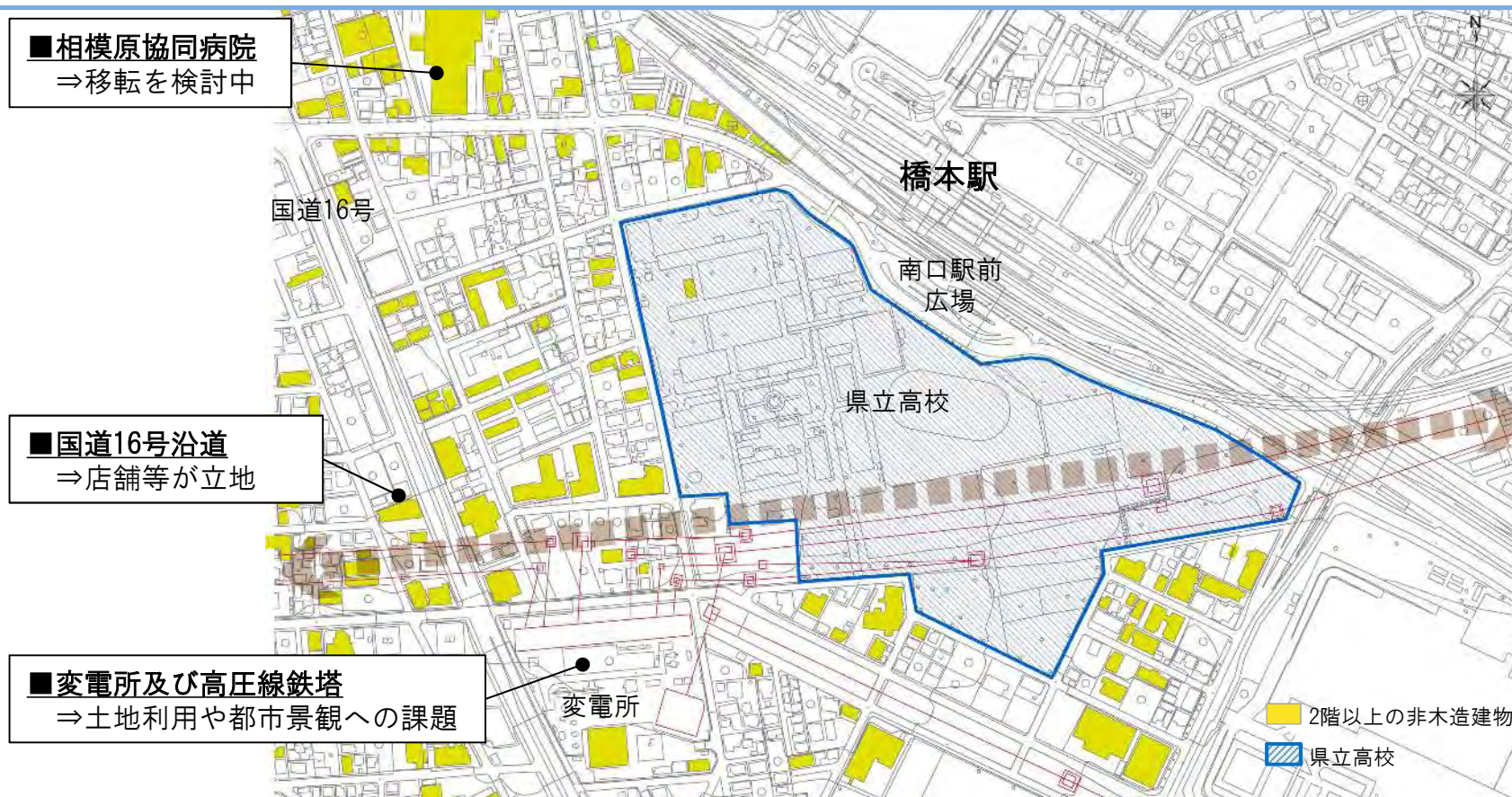
- ・県立高校の移転、リニア駅の建設
- ・商業系土地利用、高度利用の誘導が課題
- ⇒**新たな核となる拠点的市街地の形成が求められる**



## 2. 土地利用について

### 2-3 現況と課題 ②橋本駅南口の土地利用の現況

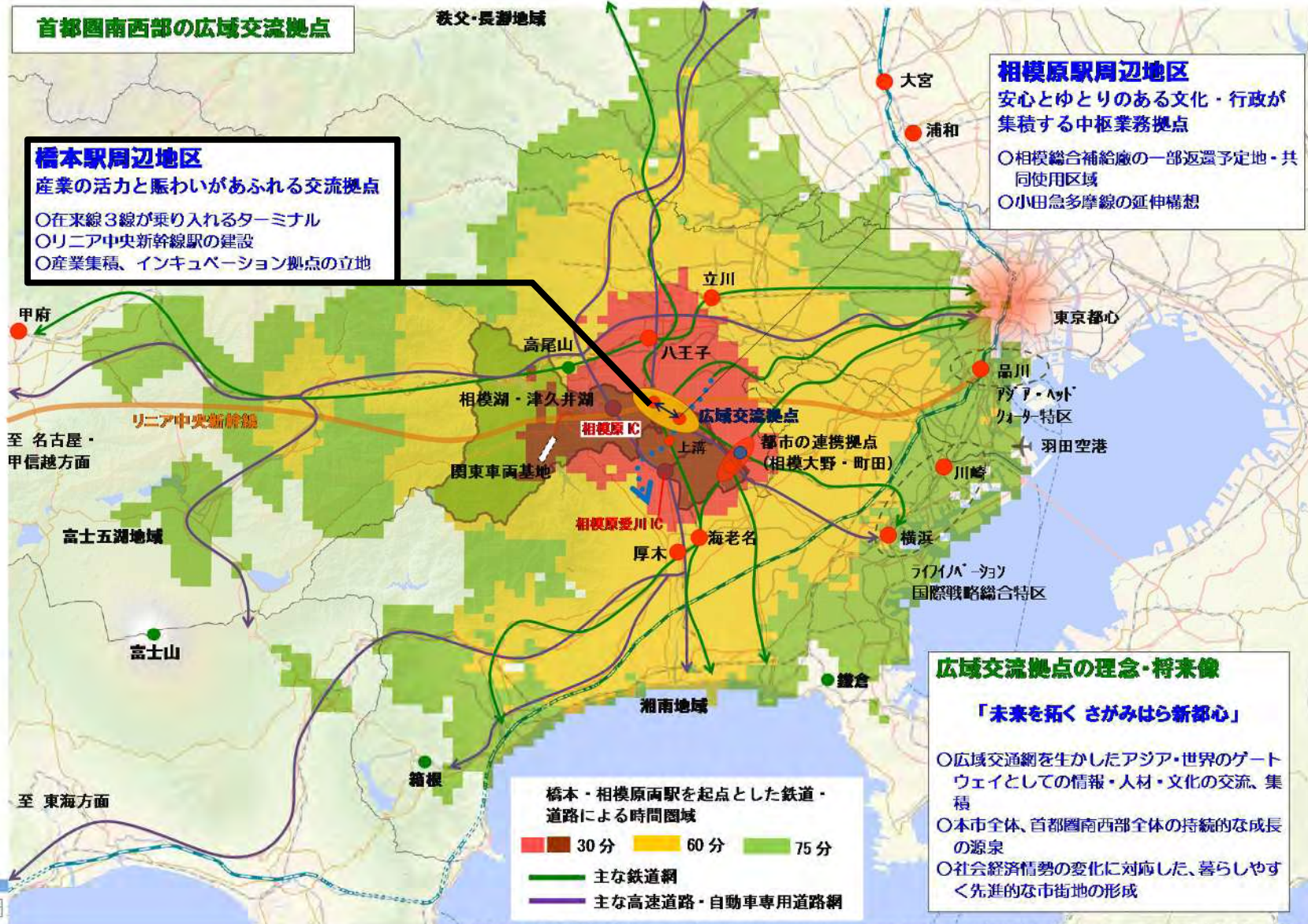
- 県立高校周辺地域は、堅牢建物等が見られるなど市街化されているが、南口駅前は、現況需要の中においても道路、駅前広場等の交通基盤が十分整備されていない  
⇒ 平成39年リニア開業を見据えたまちづくりにおいては、優先的にまちづくりを進めるべきエリアの設定や、地域との合意形成を進めながら段階的なまちづくりが必要である





## 2. 土地利用について

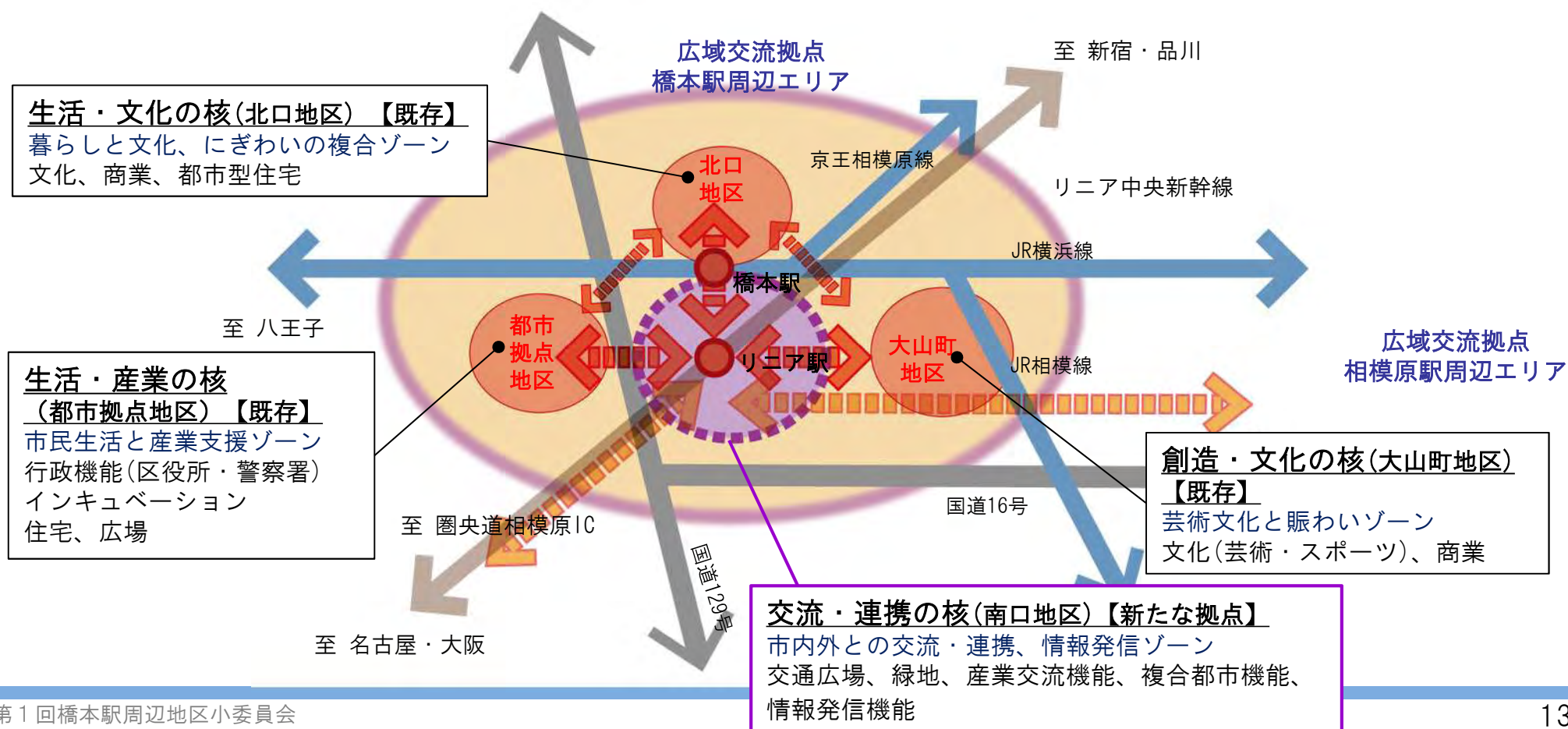
### 2-4 橋本駅周辺地区の広域的な役割



## 2. 土地利用について

### 2-5 まちづくりの方針 ①都市構造（橋本駅周辺）

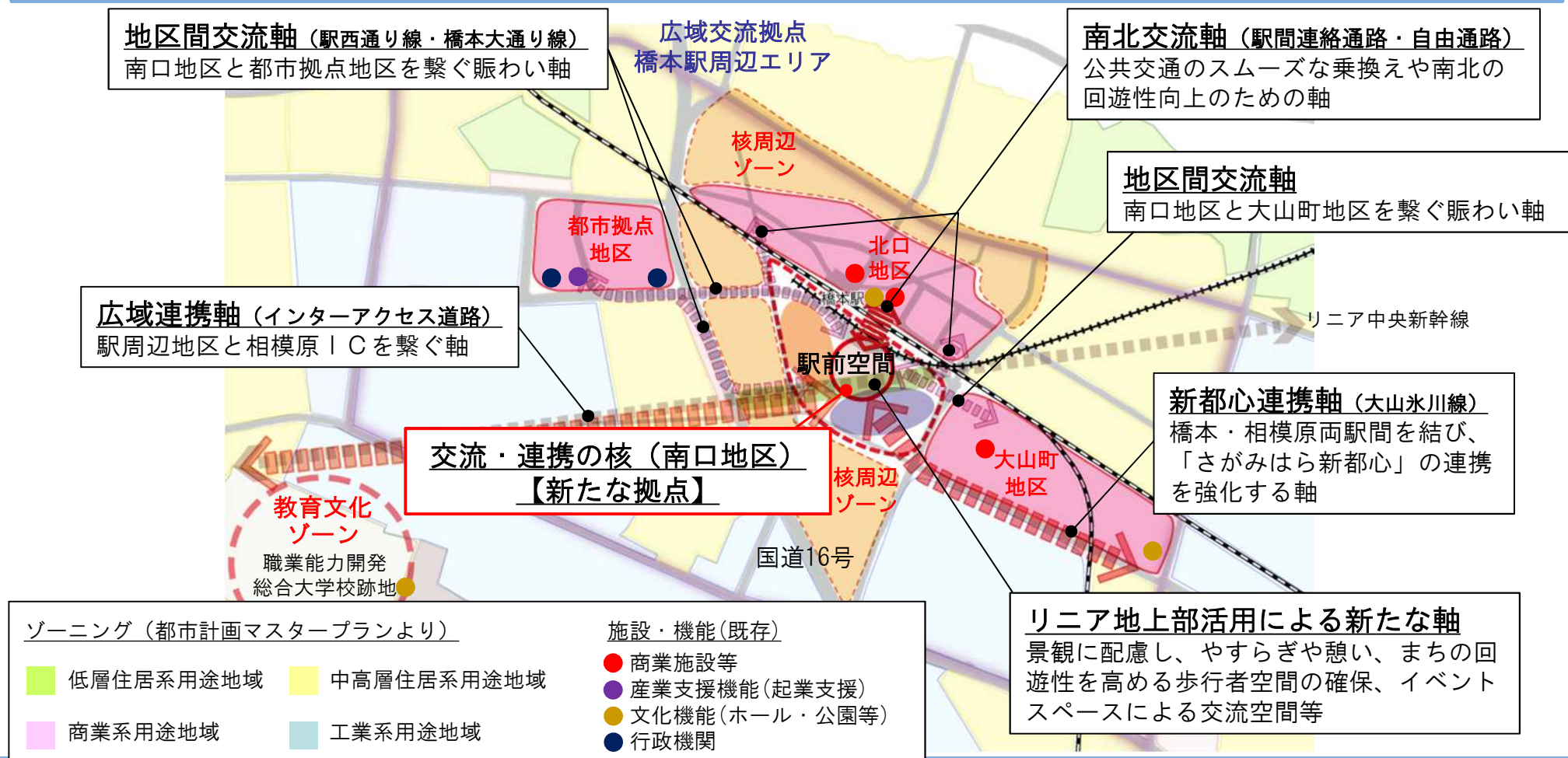
- 橋本駅周辺では3拠点の形成が図られている中、県立高校移転、リニア駅開業を見据え、南口に新たな核を形成し、「交流・連携の核」として、広域的な連携軸を結ぶターミナルとしての機能を担う
- 核どうしを交流軸で結び、それぞれの核が有する機能・魅力を相互に高め合うことで、駅周辺地区全体の発展につながる都市構造を形成し、「産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点」の整備を図る。



## 2. 土地利用について

### 2-5 まちづくりの方針 ②土地利用方針図（橋本駅周辺）

- 南口地区の核育成のため、土地利用転換や高度化を検討する。
- 核周辺ゾーンについては、社会経済環境の変化や開発需要に応じ、中長期的にまちづくりを誘導するため、土地利用転換の方向性等について検討する。



## 2. 土地利用について

### 2-5 まちづくりの方針 ③土地利用方針図（橋本駅南口）

- ものづくり産業交流ゾーンおよび複合都市機能ゾーンは、基本計画を踏まえ、各々の役割に応じた機能を導入する
- 駅前空間には、公共交通や交流軸が結節し多くの人々が行き交う場所に相応しい機能の導入を検討する（※具体的な内容は今後の小委員会にて検討）



#### 複合都市機能ゾーン

##### 【役割】

- ・国内外からの業務機能誘致
- ・少子高齢化に対応した医療・福祉・多世代共生の拠点

##### 【導入施設例】

- ・商業、飲食施設
- ・医療、福祉施設
- ・オフィスビル
- ・多世代型居住施設等

#### ものづくり産業交流ゾーン

##### 【役割】

- ・国内外との交流による産業のイノベーション拠点
- ・宇宙開発やロボット産業等を核とした交流拠点
- ・多彩な産業のインキュベーション拠点

##### 【導入施設例】

- ・産業交流施設
- ・研究、教育施設
- ・宿泊施設（ホテル）
- ・起業支援施設 等

#### 駅前空間

- ・市内外からの広域的な来街者や地域住民の交流・賑わいを創出する機能を検討

##### 【導入機能例】

- ・バスターミナル（高速バス含む）
- ・憩い潤い、防災機能
- ・広場空間
- ・賑わい施設 等

## 2. 土地利用について

### 2-6 リニア駅上部空間等の活用の方向性

- 立地特性・地域ニーズ・周辺ゾーンとの連携などを考慮しながら、以下に示すような役割を担うために必要な機能の導入を検討する（※具体的な内容は今後の小委員会にて検討）
  - ・ 広域的なゲートとしての役割（⇒リニアの技術、周辺自治体を含めた観光の情報発信など）
  - ・ リニアへのスムーズな乗継ぎ（⇒リニア駅に隣接した駐車場など）
  - ・ 回遊性の向上や賑わいの形成（⇒賑わいを連続させる商業モールなど）
  - ・ 県立高校の風景の保存・再現、防災機能等（⇒緑豊かな広場空間、広域避難場所機能など）

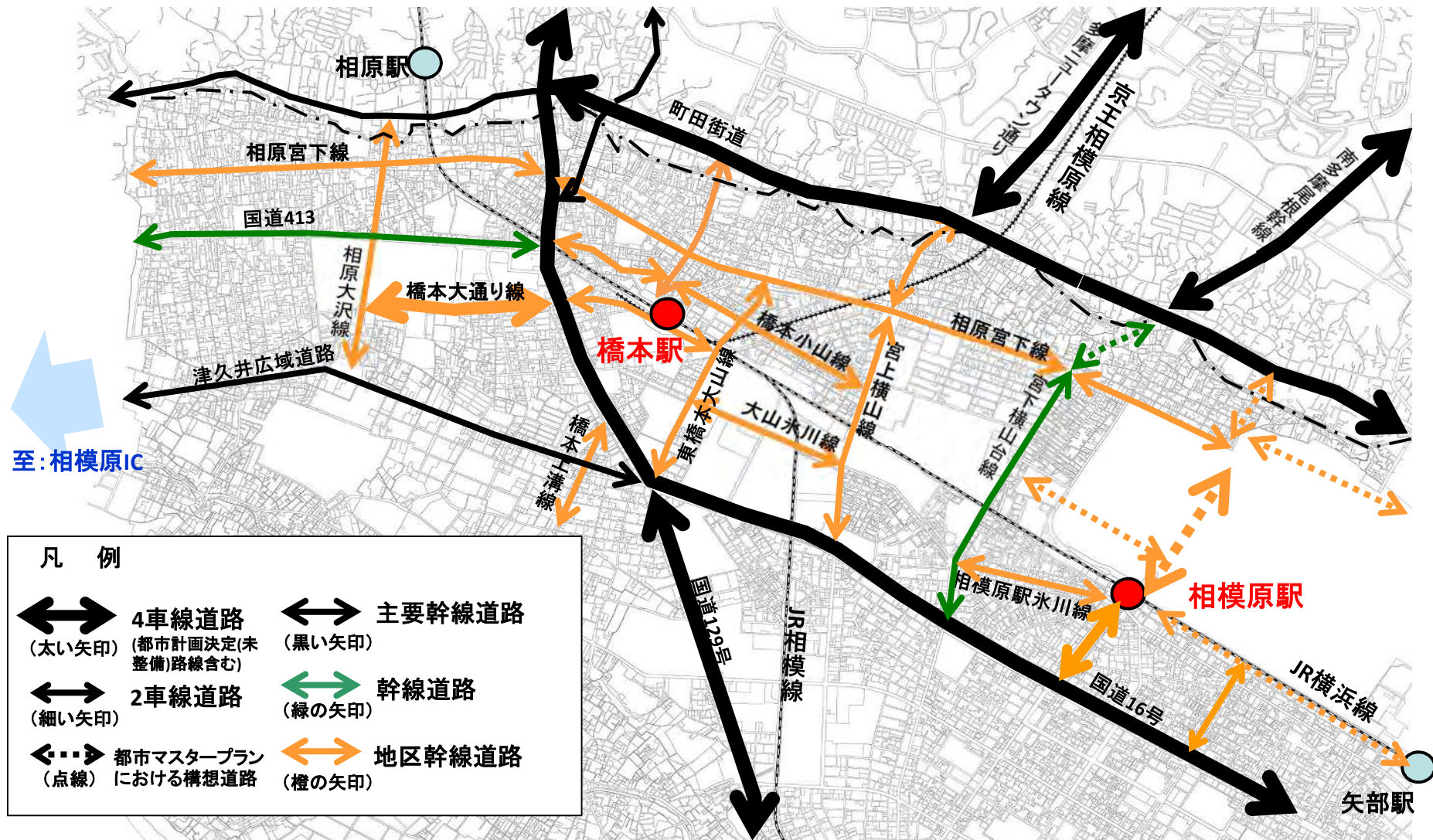
※リニア駅の構造に影響を与えない利用が前提



# 3. 交通ネットワークについて

資料3

## 3-1 既定計画 ①広域道路ネットワーク（都市計画道路・構想道路など）



# 3. 交通ネットワークについて

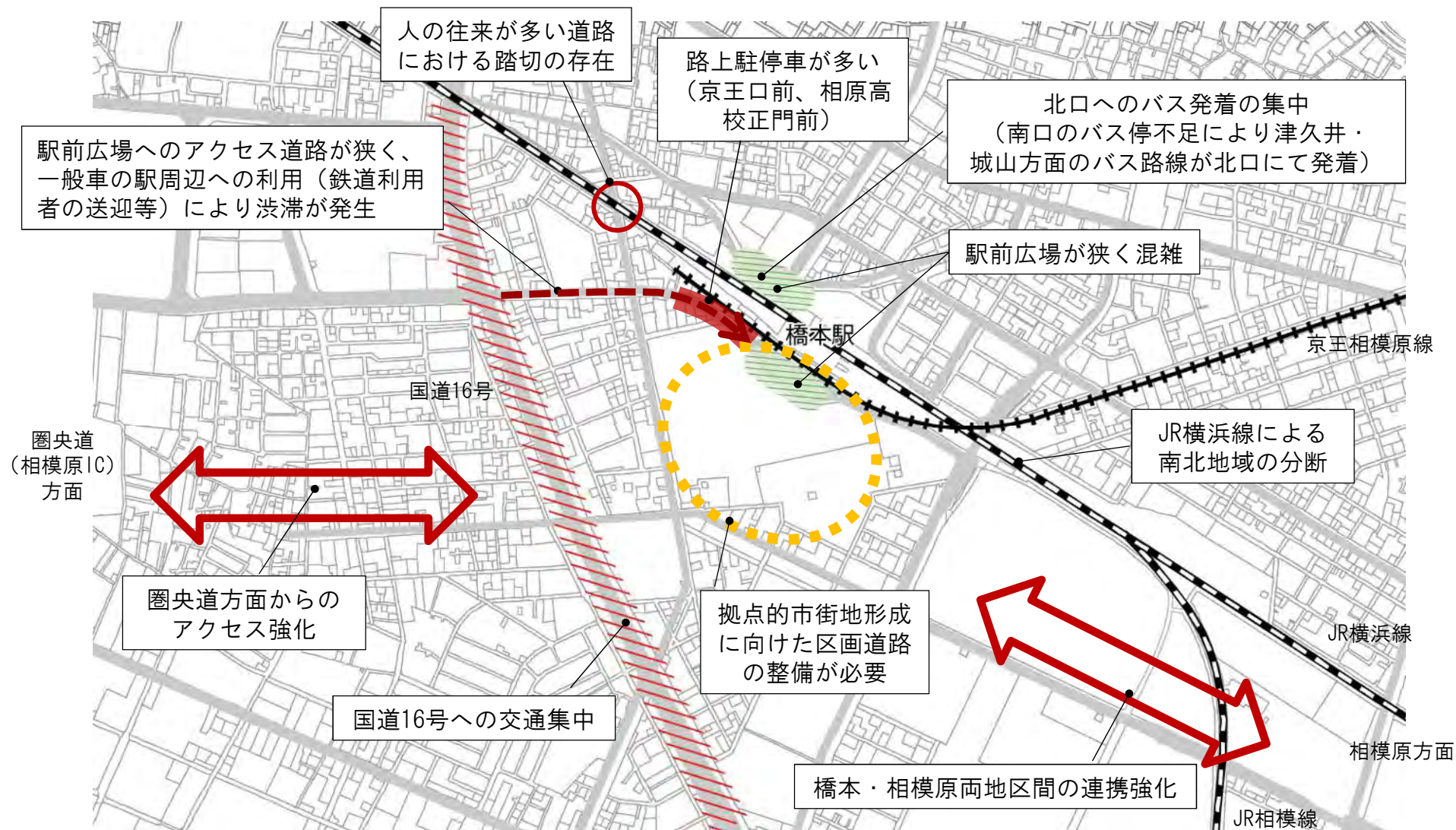
## 3-1 既定計画 ②相模原市総合都市交通計画（平成24年3月）

### ■交通別施策の考え方

	基本的な考え方	施策への取組み
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低道路密度地域の道路整備の促進</li> <li>○津久井地域と相模原地域間の連携道路の整備</li> <li>○相模総合補給廠返還予定地の道路網整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さがみ縦貫道路へのアクセス道路整備による交通集中緩和</li> <li>・IC周辺における業務施設立地誘導による地域経済の向上</li> <li>・歩行者・自転車利用者のための安全・安心な通行環境の確保</li> <li>・バス路線網の維持・強化、速達性や定時性の向上のためのバス混雑区間への対策検討</li> </ul>
バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通軸と連携したバス路線網の維持・強化、速達性や定時性の向上</li> <li>○コミュニティ交通の導入による公共交通網の確立</li> <li>○ターミナル等の乗り継ぎ負担軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備やバスターミナル等の施設整備</li> <li>・バス専用レーンの設置等による走行環境の改善</li> <li>・渋滞緩和や乗継割引等、ソフト対策の充実</li> <li>・自転車等からの乗り継ぎ利便性の向上やパークアンドバスライドの検討</li> </ul>
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連続性・速達性を確保した安全で円滑な走行空間の整備</li> <li>○歩行者空間における歩行者と自転車の分離</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通行環境ネットワーク形成を考慮した、自転車道等の整備</li> <li>・広幅員道路の断面構成の見直しによる自転車走行空間の確保</li> <li>・マナー啓発等による安全走行に関する周知・徹底</li> <li>・公共交通との円滑な乗継ぎのための自転車駐車場の整備</li> </ul>
TDM施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通課題に応じた適切な施策・事業の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路混雑解消のための情報提供</li> <li>・時差出勤の導入による通勤時間帯の交通集中の緩和</li> <li>・パークアンドライド、サイクルアンドライド等の整備による交通手段変更の促進</li> <li>・自動車の効率的活用の推進（相乗り等）</li> </ul>

# 3. 交通ネットワークについて

## 3-2 現況と課題（橋本駅周辺）





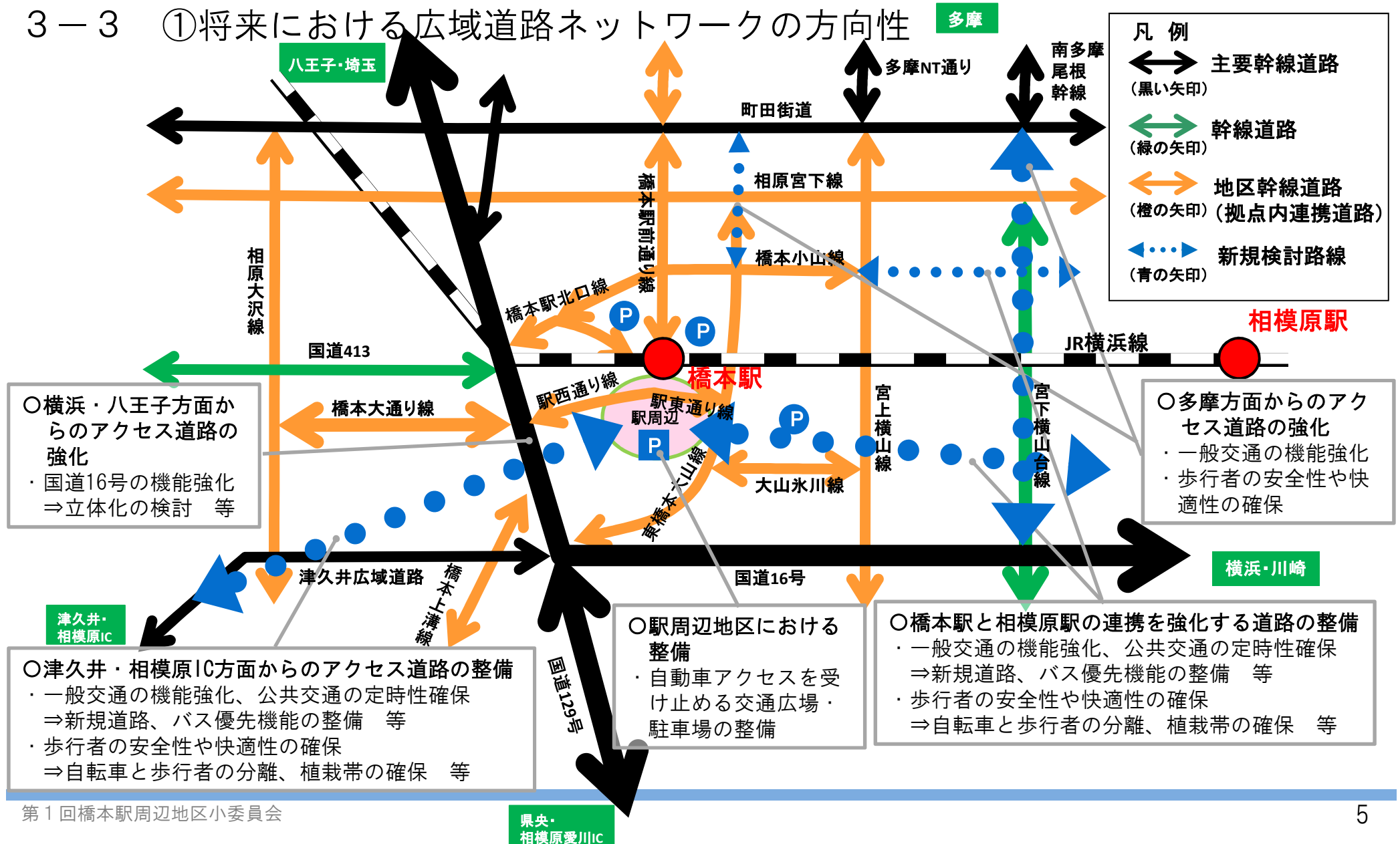
# 3. 交通ネットワークについて

## 3-3 ①現況での広域道路ネットワークの考え方



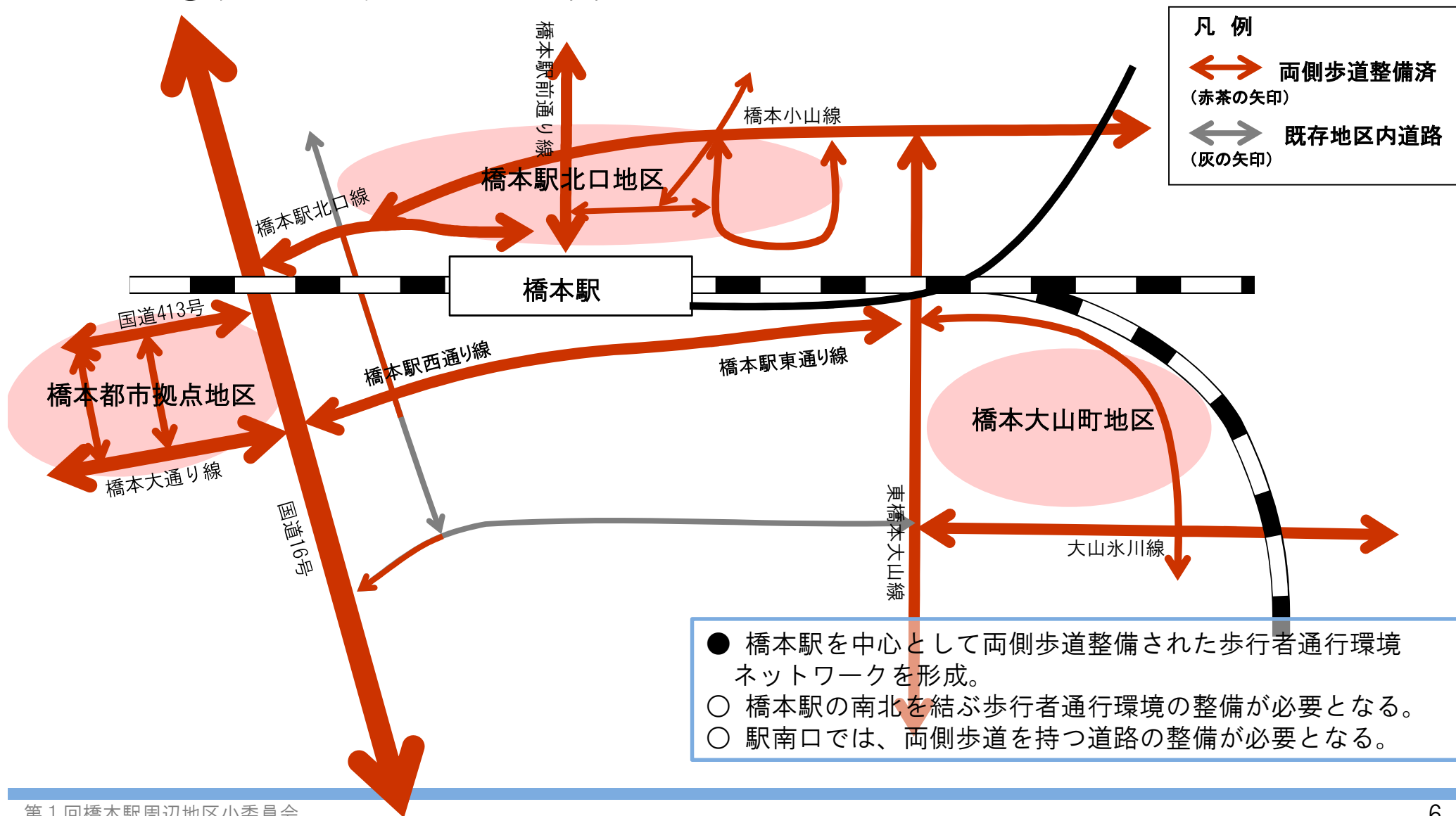
# 3. 交通ネットワークについて

## 3-3 ①将来における広域道路ネットワークの方向性



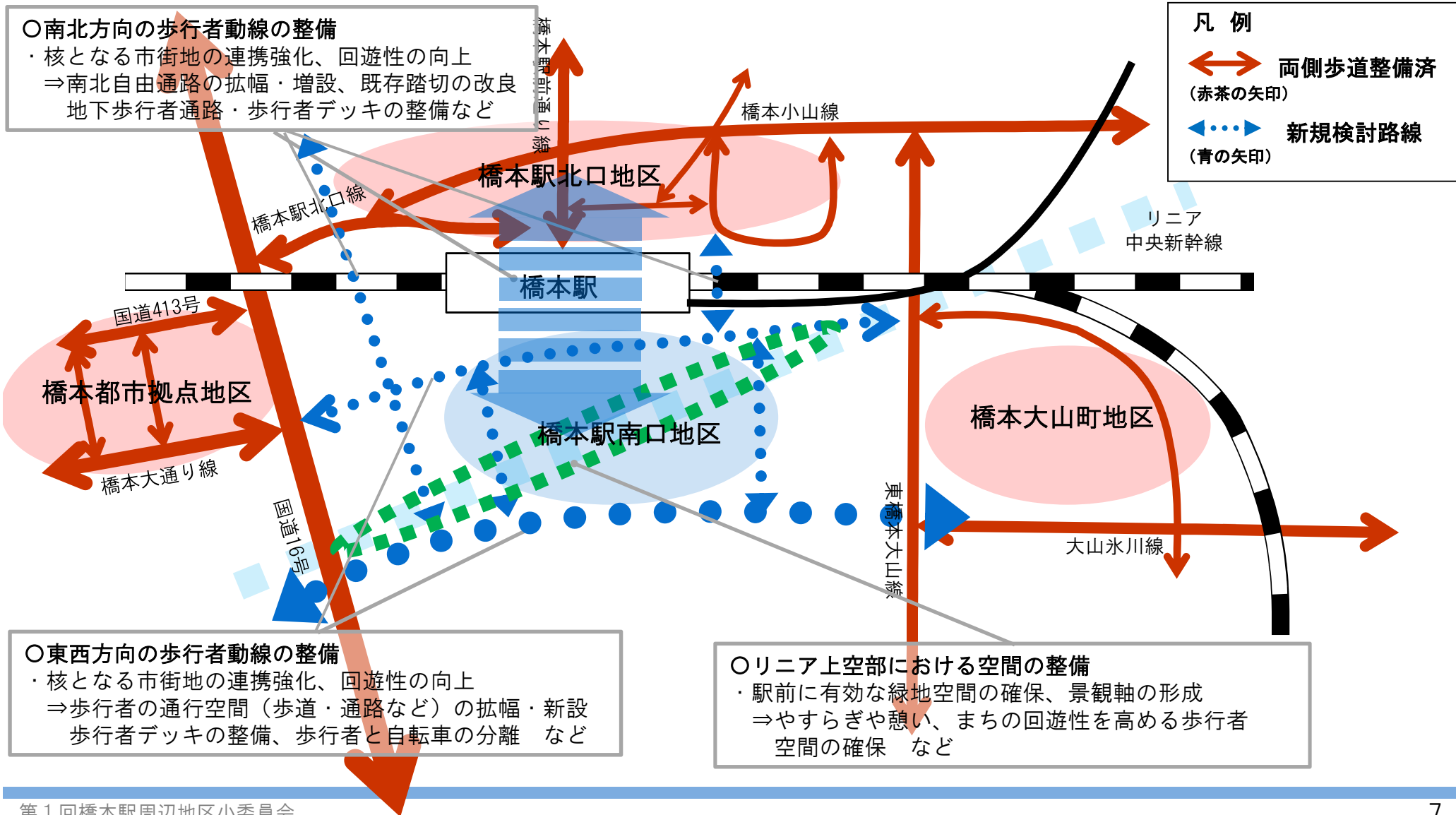
### 3. 交通ネットワークについて

#### 3-3 ②現況での歩行者通行環境のネットワーク



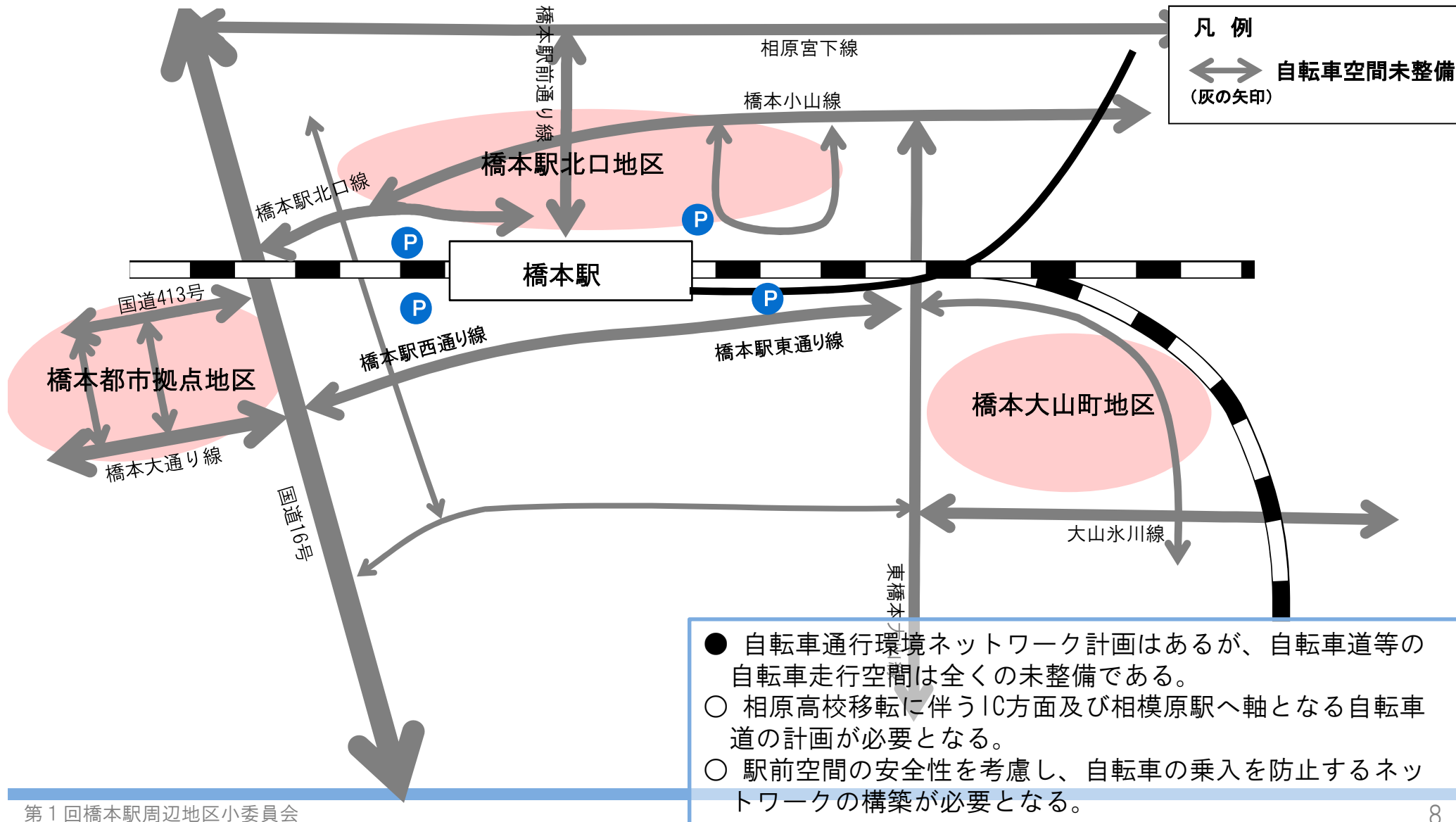
# 3. 交通ネットワークについて

## 3-3 ②将来における歩行者通行環境のネットワークの方向性



### 3. 交通ネットワークについて

#### 3-3 ③現況での自転車通行環境のネットワーク



# 3. 交通ネットワークについて

## 3-3 ③将来における自転車通行環境のネットワークの方向性

